

SAISEIKAI MORIYAMA MUNICIPAL HOSPITAL

済生会守山市民病院のご案内



フロア案内

本館

5F	●5病棟(療養病棟) [48床]
4F	●4病棟(一般病棟) [51床]
3F	●3病棟(回復期リハビリ病棟) [53床] ●人工透析センター
2F	●手術室 ●検査室(心電図・脳波) ●外来(眼科)
1F	●総合受付・会計 ●外来 ●地域医療支援室 ●放射線科(CT・MR) ●救急室

新館

3F	●リハビリセンター
2F	●2病棟(回復期リハビリ病棟) [47床]
1F	●健診センター ●内視鏡センター ●くすの木ホール

病院概要

病床数 199床 (一般51床、回復期リハビリ100床、療養48床)	診療科目 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、 腎臓内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、 眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
---	--

- 学会施設認定
- 社会保険指定医療機関 ●国民健康保険指定医療機関 ●労災保険指定病院
 - 指定自立支援医療機関(更生医療・精神通院医療) ●生活保護法指定医療機関 ●滋賀県救急告示病院
 - 病院群救急輪番制参加病院 ●厚生労働省臨床研修指定病院
 - 滋賀医科大学学外臨床実習協力病院 ●済生会滋賀県病院臨床実習協力病院
 - 滋賀県重症難病患者医療協力指定病院 ●滋賀県肝疾患専門医療機関
 - 日本消化器内視鏡学会指導連携施設 ●日本糖尿病学会認定教育施設 ●日本透析医学会教育関連施設
 - 日本アレルギー学会認定アレルギー専門医教育研修施設 ●日本整形外科学会専門医制度研修施設
 - 日本リウマチ学会教育施設 ●日本リハビリテーション医学会研修施設

交通アクセス



JR守山駅からお越しの場合

- バス**
JR琵琶湖線 守山駅西口より約10分
- タクシー**
JR琵琶湖線 守山駅西口より約5分
- 徒歩**
JR琵琶湖線 守山駅西口より約20分

車でお越しの場合

名神高速道路 栗東I.C. 近江八幡・守山方面(国道8号線)出口より約20分





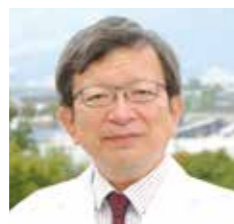
私たちは、救療済生の精神のもと、
最適最良の医療を提供し、地域の医療に貢献します。

済生会滋賀メディカル・ヘルスケアセンター

ご挨拶



滋賀県済生会医療福祉センター総長
済生会滋賀県病院 院長
三木 恒治



済生会守山市民病院 院長
野々村 和男

より地域医療に貢献できる病院へ

守山市民病院は2018年より済生会に経営移行し、2020年4月に、最新の機器を備えた広域リハビリテーションセンターと回復期リハビリテーション病棟を新設して、リハビリ診療機能を強化しています。また、同時に新設した健診センターを中心とする予防医療や、透析医療、慢性期疾患などの診療にも重点を置いています。急性期医療を担う済生会滋賀県病院との機能分化・連携により、質の高い切れ目のない医療を提供するとともに、近隣の病院や診療所、行政とも連携し、地域のみなさまの健康維持に貢献してまいります。

基本方針

- (1) 患者さんとともに歩む心で診療し、良質な医療サービスを提供する
- (2) 医療の質と安全の向上に取り組み、患者さん中心の医療サービスを提供する
- (3) 地域の医療、福祉と連携し、救急から療養まで患者さんに必要な医療サービスを提供する
- (4) 地域の回復期・慢性期医療の拠点として充実した診療機能を提供する
- (5) 無料低額診療事業および生活困窮者への支援事業を推進する

“ゆりかごから介護まで”

当院は近隣の医療機関と密に連携し、地域医療の要として、日々の診療に力を注いでいます。専門スタッフが患者さんやご家族の不安な想いに寄り添い、在宅医療、介護においても様々なサポートをいたします。特にリハビリテーションセンターでは、多職種が連携して質・量ともに高い水準のリハビリ医療を提供します。滋賀県済生会全体で、急性期から在宅医療に至るまで、地域医療構想に基づいた切れ目のない医療を提供します。



済生会滋賀 メディカルヘルスケアセンター

メディカルセンター

ヘルスケアセンター

滋賀県病院

守山市民病院

緩和医療センター
がんセンター
高度医療
救命救急センター

リハビリテーションセンター
回復期医療
慢性期医療

淡海荘

特別養護老人ホーム

ケアポート栗東

介護老人保健施設

在宅支援センター

(訪問・訪入・居宅・看多機)



リハビリテーション機器を多数導入
トヨタ自動車製「歩行練習支援ロボット」など



リハビリテーションセンター長
菊地 克久

日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医・指導医
日本整形外科学会 整形外科専門医 日本リウマチ学会 リウマチ専門医・指導医
日本骨粗鬆症学会 認定医 義肢装具等適合判定医師研修会 修了

滋賀県湖南地域において済生会滋賀県病院を始めとした周囲の急性期病院と連携をとり、回復期・生活期リハビリを必要とされる方に専門的かつ質の高いリハビリテーション治療を実践することを目指しています。4名の常勤医師と70名以上の療法士、看護師・介護スタッフ、メディカルソーシャルワーカー、管理栄養士などが多職種チームを組み、入院時からきめ細かくお世話いたします。県内トップレベルのリハビリ病院として診療を行い、かつ地域のニーズにも対応して、みなさまのご期待に添えるようスタッフ一同努力してまいります。



リハビリテーション副センター長
布施 郁子

日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医・指導医
日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医 義肢装具等適合判定医師研修会 修了
摂食嚥下機能評価実習研修会 修了 ボトックス治療資格取得

「リハビリ」と聞いて思い浮かべるのは、療法士が患者さんの動きにくい手足を曲げたり伸ばしたり、支えて歩く姿が多いかと思います。これは機能回復練習というリハビリの一部です。リハビリとはそれだけではなく、麻痺などの後遺症が残っても必要なことを自分でできるようにする、病气やけがをする前の生活にできるだけ戻ることを目標に色々な練習を行うことです。当院では歩行練習をアシストするロボットや指の練習から高次脳機能練習までカバーするロボティックデバイスなど先端機器を始め多数のリハビリ機器を用い、効果的なリハビリテーション=生活への復帰をサポートします。

リハビリテーション病棟について



スタッフステーション

医師、看護師、療法士、管理栄養士、メディカルソーシャルワーカーなど、多職種連携によるチーム医療により、患者さんやご家族の想いの実現を支援します。



病室

総室（3～4人部屋）と個室があります。リハビリテーション病棟の総室は、間仕切り家具によって仕切られ、プライベートに配慮した空間となっています。



ラウンジ

食事やリハビリも行うことができるスペースです。リハビリの時間以外でも利用でき、日中の離床を促します。

健診センター



穏やかで健康な毎日

半日ドックを主に、各種がん検診、生活習慣病予防健診、様々なオプション検査などを提供しています。ゆったりとした専用フロアで快適・円滑に健診を受けていただけます。

健診後の結果説明や健康指導は、医師が丁寧にいたします。

詳しい検査や治療が必要と判断された場合は、専門外来での診療も可能です。



健診受付



健診結果説明

人工透析センター



質の高いチーム医療

腎臓専門医である医師と、透析に関する専門的で幅広い知識を持った透析技術認定士が、他の医師や看護師、臨床工学技士と連携して、患者さんの状態に合わせた透析医療を提供します。また、フットケアチームを中心とした下肢静脈疾患予防や、透析中の運動療法によるサルコペニアの進展予防に積極的に取り組んでいます。午前と午後の外来透析の患者さんで通院が困難な方には、ご希望により送迎を行っています。



チームでの治療



透析患者さん向け送迎サービス

専門医療

各領域の専門医がバックアップ

【総合内科】

総合内科専門医が様々な症状で来院された患者さんの診療を行い、各臓器別専門科の受診が必要な場合は専門外来へ紹介します。複数の臓器にわたる慢性疾患がある方の全身的・機能的な診療も行います。

【循環器内科】

高血圧や不整脈、虚血性心疾患などの診療を行います。より専門性の高い侵襲的な検査や治療が必要な際は、速やかに高度専門施設へ紹介します。

【糖尿病内科】

糖尿病専門医が個々の患者さんの病状とライフスタイルに合わせた食事指導や薬物治療(内服薬、インスリン注射)を行います。多職種構成による糖尿病ケアチームと連携し、糖尿病教室や足壊疽予防のフットケア診療なども実施しています。

【消化器内科】

消化器病専門医が消化管、肝臓、胆のうや膵臓などの消化器疾患の診療を行います。腹部エコー検査や、消化器内視鏡専門医による胃・大腸の内視鏡検査なども行っています。

【呼吸器内科】

呼吸器専門医が肺炎や慢性閉塞性肺疾患、喘息や睡眠時無呼吸症候群などの診療を行います。高齢化に伴って増えている誤嚥性肺炎の診療では、抗生物質による治療のほか、嚥下評価や摂食リハビリテーションなども実施しています。

【腎臓内科】

腎臓専門医が腎炎やネフローゼ、腎不全などの診療を行います。定期的な診察・検査による現状把握と悪化因子の見極めにより、腎臓病の進行を遅らせるための医療を提供します。腎不全が進行した際は、当院の人工透析センターと連携して血液透析の導入・管理を行います。

【整形外科】

整形外科専門医が捻挫や骨折など運動器疾患全般の診療を行い、必要に応じて手術治療を行います。

【小児科】

小児科専門医が発熱やせき、下痢嘔吐などの急性疾患の診療、予防接種、発達診療などを行います。アレルギー診療では、専門医が詳しい検査や治療を行い、また日帰り入院による食物負荷試験なども専門のスタッフが担当します。

地域医療連携

地域全体で患者さんを支援

患者さん、ご家族、地域の皆さんの想いを大切に、住み慣れた地域で暮らしていただくために、地域の医療機関や診療所の先生、ケアマネージャー、訪問看護ステーションなどと連携・協力しています。



多職種でのカンファレンス

